

今日はね。

vol.4

漫画です。
エッセイ
これは

刷り込みの力。

知恵と勇気と
努力で何でも
できる！

これは
私の母が
常々子供に
言い聞かせて
いたことで

私も漏れず
それを聞いて
育った一人
でした。



そして現在。
私の前に
一つの試練が。

あ……
空かない……

私の普段使い
しているお茶の
容器は横に
倒しても
こぼれない
密封性が
あるのですが

たまたま温度差の
せいなのか
気圧が変わってなのか
すごく空かなくなり
ます

キャップには
パッキンが
ついている。



しかし
ここで諦める
わけには
いきません

こんな時
私の頭には
あの言葉が
浮かびます

知恵と勇気と
努力で
何でも出来る！



お茶容器 攻略!!!

開封 OPEN 封
やれば できるよ!!

言葉の力は
すごいん
ですよ。

母さんです!

疲れて いますね。

ある仕事帰りの
ことでした。

あー明日は
お休みだから
湯船に
お湯はろう
かな



せっかくだから
いっしょに
お夕飯も
作っちゃおうかな
あれ茹でて



豚肉の
お湯

あーでも
そうすると
入浴剤入れられ
なくなっちゃう
な



豚肉のローレルな
香りがしちゃう
もんねえ...

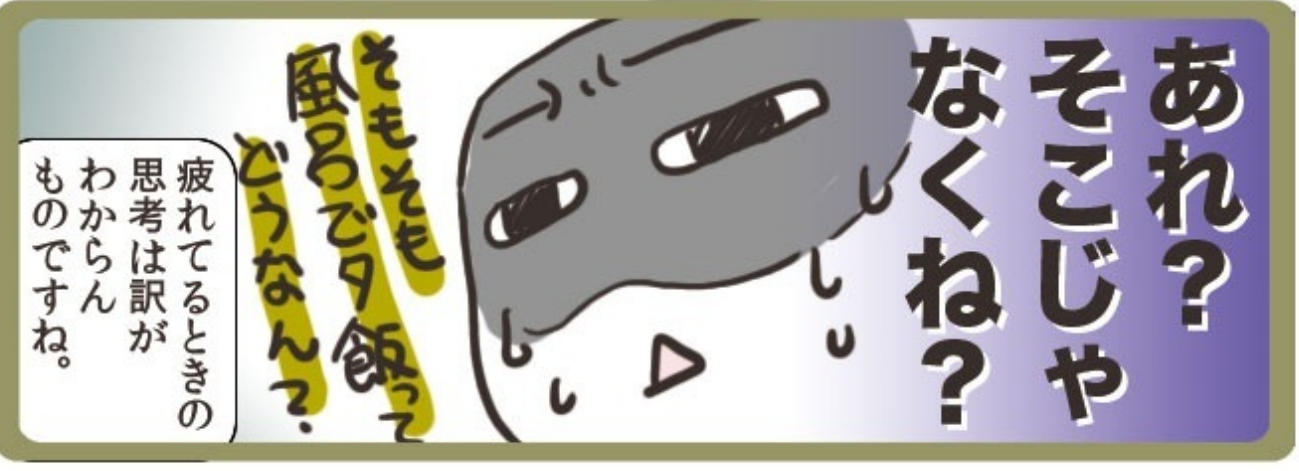
あー
ローレル
豚肉
.....

あれ？ そこじゃ なくね？



疲れてるときの
思考は訳が
わからん
ものですね。

さもかも
風呂で夕飯
どうなん？



夜がすぎ。

小さい頃は

それこそ

体力的に

夜更かしには

限界がありました

大人になった今では

状況が許せば

夜更かしなんて

し放題です



夜わざわざ
出歩くのは
危ないので
あまりしません

仕事などで
帰りが深夜に
なった時には
夜を満喫して
帰ります



人との距離の
うまい取り方が
わからなかった
十代の頃も

色々うまく
出来なかった
二十代も

夜外で涼んだり
月を探して
帰ったり
したけれど

同じように
夜に埋もれても
嫌な記憶が
ぶり返さないのが
私には今も
ありがたい
限りだったりします



何より 夜って 目にやさしい からさ。

私に敵しいの。



そんな
訳で夜が
好きです。

よくある ことです。



その時私はネットで料理系の記事を読んでいた



電車の 中にて。

仕事の関係で
遅い時間に
電車に乗ることが
あります

私はバランス
とるのも
上手じゃ無く
背もそれほど
高く無いので

つり皮
高いと
つかむの
ムリ。

つかまれる
場所が無いと
本当に電車は
苦行になります

混んでいて
つかまれない
位置から
うごかさない



なので
幸運にも
座れたときには
本当にほっと
するのですが

座れたら
座れたら
試験に
遭遇することもある。

ああ...
揺れてる...
がくがく
しているよう



時間が時間なので
仕方ない
気もするのですが

寝たり起きたり
繰り返すパターン

完全に寝入ってしまわれる
パターン

解せぬ。

精神的に
疲れます。

どうにも
できぬ...

予想できなくても
トクとしてびびる



大抵おじさまか
青年が対象なので
「この人は
疲れているのだ」
と聞いて聞かせて
耐えております。

これも
修行...

しかし
そろそろ
美少女イベントとか
きてもよくないか?



画材屋さん

にて。

大きな画材屋さんに行きましょう

欲しいものは大抵あるので交通費を考えれば通販よりも場合によっては安く手に入れます

IF ~SFまで全部画材とか。+100-



品揃えが豊富なので大抵買いたい物半分見物半分といった感じで毎回過ごします

わーこれ何に使うんだろう？

うおおお高ああ！ たっか

カワイイ...でもがまん！

脳内でこの台詞をくり返し巡回。

← 専門性高すぎるとわかんない。

そんな中ふと思ったことが。

売り場に並んでいる画材はどれも同じ値段だけど...

それから作られる作品のレベルには確実な差があるわけだ...



つまり...

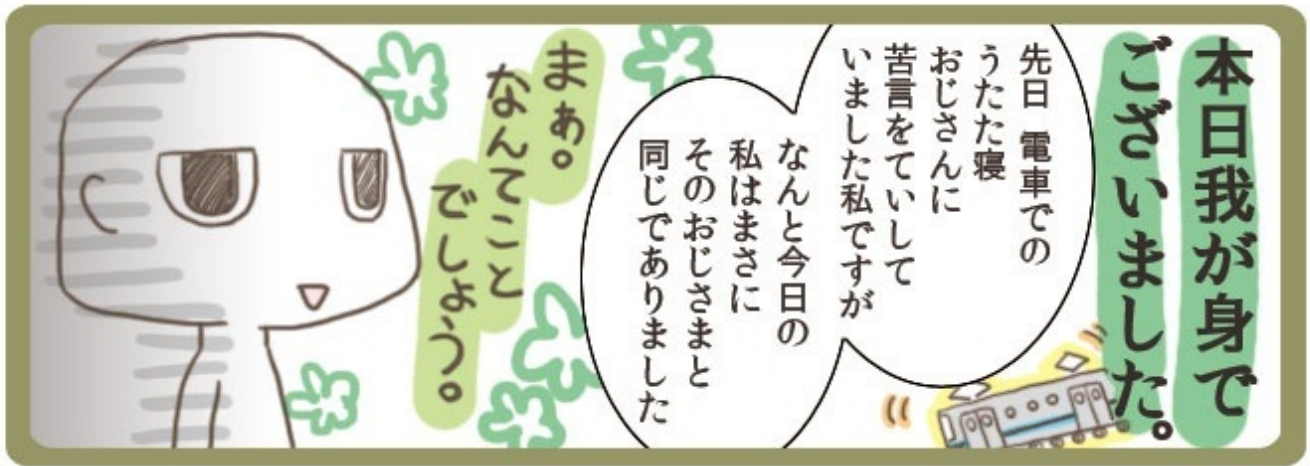
画材 + 技術

=

良くも悪くも無限大。

ああ... 練習を... 精進を... いたしましょう

反省会
イン画材屋。



ああ素敵に。麺類に。

猛暑で食欲も落ち込みかねませんが

そんな時でも大活躍なのが麺類です♪



麺そのものがつるつると食べやすいってのも大事ですが

いっしょに合わせて食べるものが色々あるのでそこで栄養もしつかりととれるのがポイントだと思います



最近の私の流行はオクラ納豆 大根おろし!



本当は天ぷらとかもいっしょに〜と思うのですが

さすがに揚げ物は自分で作るの大変なので食べた時は買っています

揚げ物
片づけ
大変から

なので天ぷらを買う時は麺を茹でることを固く心に誓って購入しております

今日は麺を茹でる... お弁当買っちゃったりしない... 自炊するんだ...

夕飯カップ麺ですませたりしない... 今日天ぷらそば!

この気合いでレジへ行きます。



そして
たどり着く。

私は食べると
すぐ眠くなります

なので
学生の頃は
午後の授業は
睡眠に耐える
時間でした



昨今では
仕事でも
睡眠が障害に
なってきたので

眠気覚ましに
いろいろ試して
みている
昨今です



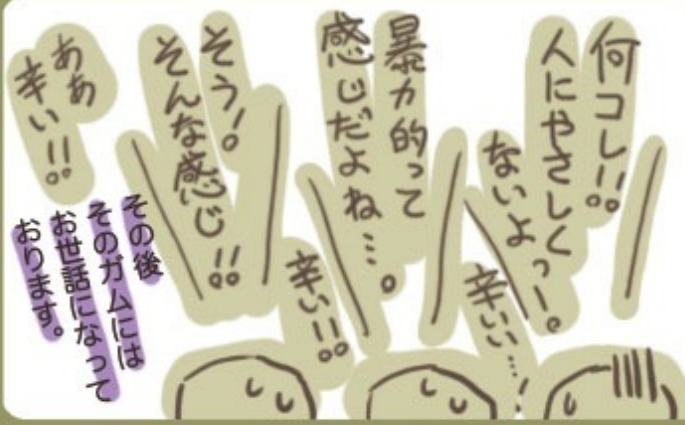
そんな中
辿り着いたのが
あるガムでした

口に入れて
数回噛んだ後の
辛さが半端
ありません

うっかり
その状態で
話そうとすると
むせるほどです



結果：
私の周囲では
そのガムの
辛さを
「暴力的」と
評することで
一致しました。



改善策

求む。

私の鉛筆の持ち方は一般とは異なっています

俗にいう正しくない持ち方なのですが、昨今少し困ったことになっていきます



以前にまして長時間絵を描くようになったのですが

その際強くペンなどを強く握りすぎることもまた筆圧をかけすぎてしまう癖があります

度々手が痛くて作業が中断してしまいうことが増えてきました



特に利き手の薬指の付け根が手の内側にめり込んでいくような感覚がありこれが妙な痛みを持つているから困りものです

のびしたり引く張ってみたりしてみるのですが当然のようにごまかせません



それでも時間をおけば回復するのですが解決はしないので困っています

今はとにかく力を抜くように心がけていますが……

きつとこれも体質とかと同じでうまくつき合っていないのでしょね



今日はね。 vol.4

<http://p.booklog.jp/book/54610>

著者：童

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hagurumawarashi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/54610>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/54610>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ